

2019年（平成31・令和元年） 研究業績

寄付講座・共同研究講座名： データサイエンス推進講座

研究代表者名： 桑鶴 良平

設置の背景・概要 等

現在、本邦の医療機関における臨床データは後ろ向き解析用に十分に整理されておらず、本学も例外ではない。この為、臨床研究の為に学内各附属病院の電子カルテや各種部門システムに蓄積された臨床データを解析しようとしても容易ではない。具体的には、研究者が医療情報担当者に必要なデータの抽出を依頼し、パソコン上でデータの質を確認し、クレンジングするプロセスの為に数週間の時間を要することも例外ではない。そして追加のデータが必要な場合は、再度このプロセスを繰り返す必要がある。また、受託研究を依頼された際も、本学附属病院グループ全体に存在するプロトコル適合症例数を把握する為に同様な時間と手間が掛かり、受託臨床研究獲得促進の阻害要因にもなっている。

そのため、本学内臨床研究、多施設（国際）共同研究、受託臨床研究などに資する臨床データウェアハウスを設計し、本学内に散在する各種臨床データを抽出・統合した臨床データウェアハウスを構築する。また、このようなデータウェアハウスを活用したデータマネジメントのあり方を検討し、本学内組織における実装を目指す。